

令和2年度女川町地域公共交通調査等業務委託

町民及びバス利用者アンケート

調査実施計画書

令和2年9月



株式会社 ケー・シー・エス 東北支社

町民及びバス利用者アンケート調査実施計画書

－ 目 次 －

1. 調査概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査対象	1
1-3 調査項目	1
1-4 調査方法	2
1-5 印刷部数	2
1-6 実施スケジュール	2
2. 分析のイメージ (案)	3
3. 調査票の設計	4
4. 調査票 (案)	4

1. 調査概要

1-1 調査目的

- ・女川町では、平成30年度に策定した「女川町地域公共交通網形成計画」に基づき、生活軸の形成に向けて、令和2年7月13日から9月13日までの2か月間、「循環20バス」の実証試験を実施した。
- ・「循環20バス」の効果検証を実施するにあたり、全世帯及び町民バスの利用者を対象に、目標の達成状況や効果の発現状況などを把握するため、「①町民アンケート」及び「②バス利用者アンケート」を実施する。

<効果検証のポイント>

○目的が達成されているか

⇒既存の町民バスでまちなかへ出てきて、循環20バスに乗り継ぎ複数の用事を済ませて、また町民バスで帰ることができる。

○期待した効果が発現しているか

⇒既存の町民バスの利用増加（既存利用者の利用頻度の増加・新規利用者の増加）
実証試験路線沿線の新規利用者の増加

○実証試験の運行内容に対する使い勝手に問題はないか

⇒ダイヤ・バス停・ルート・乗継状況などに対する改善要望・意見

1-2 調査対象

- ・女川町内の全世帯（町広報紙配布対象2,692世帯）
- ・町民バス4路線（安住・清水便、町内循環便、五部浦便、北浦便）の利用者

○(株)黄金バス

宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜字袖山 6-3 TEL:0225 (54) 3207

代表取締役 木村 紀千郎

○(株)黄金タクシー

宮城県牡鹿郡女川町女川 2-5-4 TEL:0225 (53) 4892

代表取締役 木村 寛一

1-3 調査項目

- ・属性
- ・循環20バスの利用状況について
- ・町民バスの利用状況について
- ・バスロケーションシステムの利用状況について
- ・公共交通に対するご意見・要望について

1-4 調査方法

①町民アンケート

- ・女川町内の世帯を対象に町広報紙と一緒に調査票を配布し、郵送にて回収する。
- ・配布部数は2,692票とする。

②バス利用者アンケート

- ・バス車内に調査票を留置きし、バス利用者が降車する際、運転手から調査協力の声掛けを行う。
- ・バス利用者には帰宅後、自宅等で調査票に記入し、返信用の長3号封筒で郵便ポストに投函してもらう。
- ・配布用として約500部を準備する。

<配布物>

- ・調査時に配布するものは以下のとおり。
 - ア) アンケート調査票 (A4、モノクロ、8頁) ※依頼文を含む
 - イ) 返信用封筒 (長3) ※料金受取人払で、返信先は調査委託先、(株)KCS東北支社とする。
- ※「①町民アンケート」では、ア・イを配布用封筒 (角2) に封入・封緘した状態で配布する。
※「②バス利用者アンケート」では、アをイに封入し、封緘しない状態で配布する。

1-5 印刷部数

- ・印刷部数は約3,200部とする。

1-6 実施スケジュール

- ・調査票の確定 : 令和2年9月3日 (木)
- ・調査準備 : 令和2年9月4日 (金) ~ 9月16日 (水)
- ・事業者へ調査備品を発送 : 令和2年9月17日 (木)
- ・町に調査票納品 : 令和2年9月24日 (木)
- ・町民アンケートの発送 : 令和2年9月29日 (火) ※10月号町広報紙配達日
- ・調査期間 :

【①町民アンケート】令和2年10月1日(木)~10月21日(水)※通数によるが2~3週間程度確保

【②バス利用者アンケート】令和2年9月24日(木)~10月21日(水)※1か月程度確保

- ・回収締切 : 令和2年10月22日 (木)
- ・分析期間 : 令和2年10月22日 (木) ~ 11月上旬
- ・分析結果 : 令和2年11月上旬

2. 分析のイメージ（案）

- ・町民の●割は「循環20バス」を利用したことがある。
- ・町民の●割は「循環20バス」の本格運行を望んでいる。
- ・利用者の●割は、一度の外出で複数の施設を利用することができている。
- ・既存の町民バスの利用者の●割は、「循環20バス」との乗継利用をしている。
- ・利用者の●割は、「循環20バス」の実証試験期間に新規利用者となった。
- ・既存の町民バスの利用者の●割は、「循環20バス」の実証試験期間に利用頻度が●%増加した。
- ・「循環20バス」の運行内容に対する評価について、満足度が高い項目は「運行本数」が最も高く●pt、次いで「○○」で●ptとなっている。満足度が低い項目は「○○」で●pt、次いで「○○」で●ptとなっている。

3. 調査票の設計

- ・調査内容は以下のとおりです。

表 調査の項目一覧

狙い	分析イメージ	設問
利用者と非利用者の傾向を明らかにする	町民アンケートと利用者アンケートのクロス集計	Q1 アンケート票の受け取り
属性別の傾向を分析する	回答者の属性によるクロス集計	Q2 性別
		Q3 年齢
		Q4 居住地
		Q5 公共交通の利用者数
実証試験の目的が達成されているか、実証試験の運行内容に対する使い勝手に問題はなにかを明らかにする	一度の外出で複数の用事を済ませることができているかなど循環20バスの利用実態を整理するとともに、今後の利用意向から潜在需要を捉える	Q6 循環20バスの利用経験
		Q7 主な利用の目的
		Q8 目的地・目的施設
		Q9 乗り継ぎ利用の有無
		Q10 利用した理由
		Q11 「循環20バス」の運行期間の外出状況の変化
		Q12 運行内容に対する評価
		Q13 本格運行に対する要望
		Q14 本格運行する際の利用意向・支払許容額
		Q15 循環20バスに対する意見・要望
期待した効果が発現されているかを明らかにする	循環20バスの運行により新規利用者の増加や既存利用者の利用頻度が向上されているか整理する	Q16 直近半年以内の町民バスの利用状況
		Q17 利用頻度
		Q18 利用した便
		Q19 主な利用の目的
		Q20 目的地・目的施設
		Q21 利用する理由
		Q22 利用しない理由
		Q23 町民バスに対する意見・要望
運賃体系の妥当性を明らかにする	運賃に対する許容状況などを整理する	Q24 運賃に対する考え
		Q25 必要な料金制度
バスロケーションシステムの利用状況を明らかにする	バスロケーションシステムの利用率を整理するとともに、機能の使いやすさや改善要望等を整理する	Q26 バスロケの利用状況
		Q27 【利用したことがある方】案内は分かりやすさ
		Q28 【利用したことがある方】バスロケに対するご意見・要望
公共交通に対する意見・要望を捉える	公共交通に対する意見・要望から新たなニーズを整理する	Q29 自由回答

4. 調査票（案）

- ・別紙のとおりです。